

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター

実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研(株)

A. 生産管理	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
---------	---------------------------

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 生産活動の基本 ・近年の製造業を取巻く環境を解説して業界の課題を認識する。 ・生産活動の目的である”付加価値創造”を再認識する。 ・製造業のしくみを解説して業務連鎖と自部門の役割を理解する。	1.0
			(2) 製造人の基本的な心得 ・”次工程はお客様”という考えを解説して重要性を理解する。 ・”報連相”の重要性とポイントを解説し実践ポイントを理解する。 ・”安全第一”の考えや活動を解説して危険予知活動を習得する。	0.5
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造現場の活動 ・職場の五大任務(QCDSM)を解説してそのポイントを理解する。 ・製品の3要素と4M管理を解説して生産管理を理解する。	0.5
			(2) 生産性の向上 ・付加価値生産性を解説してその向上のポイントを理解する。 ・原価構成と利益を解説してコスト削減のポイントを理解する。	0.5
			(3) 生産現場の問題 ・”問題”と”課題”の定義を解説してポイントを理解する。 ・生産現場での問題を解説して”変化点管理”を理解する。 ・ヒューマンエラーを解説して防止の考え、ポイントを理解する。	1.0
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 改善活動の基本 ・改善の必要性、ポイントを解説して意識変化を促す。 ・改善の基本を解説して”5S”、”PDCA”について理解する。 ・改善活動のステップを解説して進め方を理解する。	0.5
			(2) ムダを見つける ・生産活動の3大ムダを解説してムダへの認識を確認する。 ・生産活動における16大ロスを解説してロスの認識を確認する。 ・7つのムダを解説して自分の業務におけるムダを確認する。	1.0
			(3) 改善活動の取組み ・問題発見の定石や解決に向けた着想のポイントを理解する。 ・業務における改善活動を理解して流れを習得する。	1.0
	演習		演習1: 初めに会社および自部署の付加価値について個人ワーク、グループワークで再認識する。 演習2: 自部署の問題を個人ワークで抽出し、QCDSMの観点で分類することで問題発見を実践する。 演習3: 上記問題発見からグループワークでテーマ設定、改善計画を立案することで改善活動の進め方を習得する。	上記内 2.5

応用・実践要素	問題発見から改善計画立案までの一連の流れを自部署の事例でグループワークで実践して習得を促す。	
	合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント	製造業務の初任層として、生産活動の目的である”付加価値を生み出す”ことへの執着心を持ってもらい、ものづくりの仕事の基本を理解してものづくり現場の問題の発見と解決が改善活動であり、その改善活動が付加価値生産性を向上し、企業の存在価値を高めることにつながることを理解する。また、演習を通して改善活動の基本の習得を促して今後の業務に活かせるように考えた。
---------------	--

講師から一言	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上をテーマにした研修。製造現場における具体的な流れを学び、生産性を向上させるカリキュラムです。
--------	--